

# 広陵町自治基本条例推進会議

## 令和7年度第5回条例周知部会

### 議事録要旨

■ **開催日時** 令和7年12月4日(木) 10時00分から12時00分まで

■ **開催場所** 役場3階 第一委員会室

■ **出席者**

#### < 条例周知部会委員 > 6名(欠席2名)

清水裕子副会長、藤田和郎委員、堀田未輝委員、丸谷綾子委員、吉田勝彦委員、野条亜美委員

#### < 運営支援 >

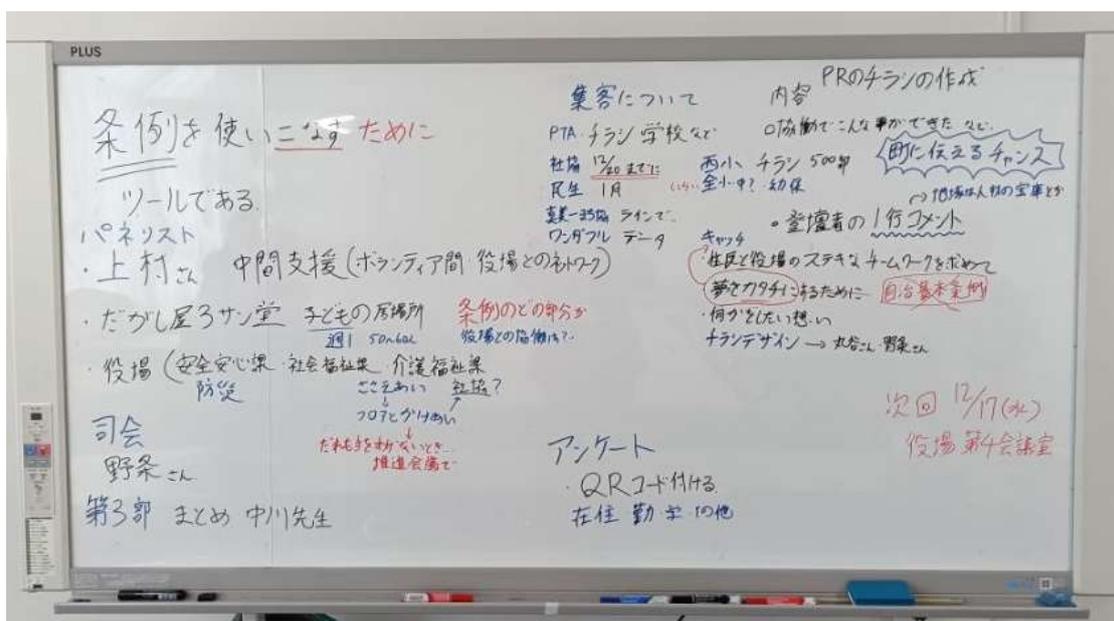
特定非営利活動法人NPO政策研究所 直田春夫氏、田中逸郎氏

#### < 計画推進部会委員 >

中川幾郎会長、森田隆夫委員

#### < 事務局 >

協働のまちづくり推進課 森田公美次長、野村和宏係長、濱口凌主事補



## 1 開 会

## 2 議 事

### ★シンポジウムの概要について

(副会長)

- ・シンポジウムの概要を事務局から説明お願いします。

(事務局)

- ・シンポジウムの概要を説明

(副会長)

- ・何かご意見等ある方いらっしゃいますか。

### 〈開催内容第1部〉

(委員)

- ・中川先生の講演のタイトル「使いこなす」という表現は如何か。

(NPO 政策研究所)

- ・これは私が仮で考えたものなので、案をいただければ。

(会長)

- ・私はむしろ良い表現に感じている。一般的に条例というのは守らないといけないもの、縛られるイメージがあるが、逆に条例を使いこなすというのは良い。

(副会長)

- ・私も良いと感じている。条例というものは難しいものではなく、ツールとして使いこなすものなんだという印象を与える。

(委員)

- ・では「使いこなすために」としてみてはどうか。

(会長)

- ・良いと思う。少し表現が馴染みやすくなった。

(副会長)

- ・では講演タイトルは「自治基本条例を使いこなすために」で決定します。

### 〈開催内容第2部〉

(副会長)

- ・推進会議の取組報告という部分、10分も不要かと思う。出来れば写真等、紹介できるものがあればいただきたい。

(事務局)

- ・承知しました。

(事務局)

・パネリストについて、役場からの登壇者は現在調整中です。防災関係で安心安全課を考えておりましたが、日程の都合上難しいかもしれません。

(副会長)

・役場からの登壇者については、この場でも案をいただけたら。

(NPO 政策研究所)

・他市からの登壇者ということで、NPO 法人とよなか ESD ネットワーク事務局長の上村有里さんをお願いしている。こちらは、民間主導で中間支援活動をされている方です。

(事務局)

・広陵町民からの登壇者は、だがし屋3サン堂の長谷川晴子さんをお願いしております。こちらは、南郷地域で放課後に駄菓子屋さんをしたり、その場で色々な遊びを提供したり、子どもの居場所作り等の活動をされています。

(NPO 政策研究所)

・長谷川晴子さんの活動において、町との協働はあるか。

(事務局)

・図書館との協働で、図書館の本を地域に届ける「まちじゅう図書館」という活動があります。

(副会長)

・では、他市からは上村有里さん、町民からは長谷川晴子さんでお願いします。役場からの登壇者について、委員のみなさんから、こんな内容が良い等、意見ありますか。

(委員)

・防災関連は、住民にとっても大事で身近なものであるので良いと思う。

(副会長)

・防災はわかりやすくて良い。事務局から他に候補は。

(事務局)

・防災以外ですと、社会福祉課で重層的支援体制整備事業があります。

(委員)

・生活支援体制整備事業であれば、協議会、グループが立ち上がり包括的に取り組んでいる、介護福祉課なども挙げられる。

(委員)

・重層的支援はまだ軌道に乗ったばかりでそれほど深く話すのは難しいのではないか。一歩手前の生活支援体制整備事業の話であれば。

(副会長)

・第一希望防災・防犯、第二希望で福祉で。

(会長)

・少し話戻るが、3サン堂は、役場のどこと協働しているのか。役場の顔が見えない。図書館ならば、役場がどういった支援をしているのか見えるように。でなければ、ただの自立した活動。

(NPO 政策研究所)

・意見交換の際に、「役場とどういった協働をされているか、役場のどういった支援が助けになったか」等、清水副会長から質問を投げかけてみては。

(副会長)

・パネリストに共通して大事な点として、自治基本条例のどの部分にかかる活動をされているのかというところである。

(会長)

・堺市のこども食堂では、芸術プログラムのアウトリーチをいしていたり、子ども食堂の活動をされているところに、行政は場所の提供をしていたり、協働がわかりやすい。

(副会長)

・3サン堂さん、何らかの協働はありますよね。そこが見えるような発表と意見交換でのお話を。

(事務局)

・承知しました。

### 〈開催内容第3部〉

(副会長)

・「総合司会から問題提起」とありますが、そもそも総合司会どうしますか。

(委員)

・清水副会長を推薦する。聞き手の心をグッと掴むようなお話ができる。

(副会長)

・私は2部パネルディスカッションのコーディネーターもあるので・・・

(委員)

・進行のみで良いなら、私がやります。

(副会長)

・では野条委員、総合司会をお願いします。

(NPO 政策研究所)

・私が進行台本作るので、後は好きに変えてくれて問題ない。

(NPO 政策研究所)

・第3部の最後、総括のところだが、私で良いのか。中川会長の方が良いのではないか。第2部の中川会長のコメントを省いて、意見交換にもう少し時間を割き、

中川会長には第3部の総括でお話していただくのはどうか。

(NPO 政策研究所)

・では中川会長は第1部の講演で20分と、第3部の総括で15分で。

(委員)

・第3部の意見交換が5分しかないが。

(NPO 政策研究所)

・これはあくまで調整。

(会長)

・フロアから意見が出なければ委員の誰かに手挙げてもらう。

(副会長)

・私から当てさせてもらうので、話すこと考えておいてください。

### ★集客について

(副会長)

・どのように集客できますか。PTAは？

(委員)

・声かけはできるが、来るかどうかは・・・メールで回しても開かない人が多い。

それよりも、学校にチラシの掲示をする方が良いのでは。

(NPO 政策研究所)

・PRできるものがあった方が良い。

(委員)

・広報記事の案を見させていただいているが、行くメリットを感じられない。私はワンダフルな街を創る会という会で活動しているが、例えば災害時にわんこの同行避難できる場所を聞くと、図書館横の倉庫のみだという。こういった状況を変えたいと思い活動している側としては、少しでも思いが届いたり、施策への反映を検討してもらえたり、町のイベントに行くことでメリットがあれば集客できるのではないか。

(副会長)

・例えば、この広報記事案のパネリスト紹介欄に、パネリスト自らが感じた「協働によって得たもの」や、キャッチフレーズ等、一言添えてみては。

(NPO 政策研究所)

・広報は校正の締め切り等もある関係で、あくまでお知らせ程度に留まって仕方ない。魅力を詰め込むならチラシ作成で。

(副会長)

・LINEでの告知ありますよね、広報にもそのことを記載を。

(事務局)

- ・ホームページを作成するので、その QR コードを掲載します。  
(NPO 政策研究所)
- ・パブリックコメントへの回答の際に、今回のシンポジウムでの感想、意見も載せたい。シンポジウムの感想は、QR コードからもできるように。  
(副会長)
- ・確認だが、チラシは普通に事務局でカラー印刷か。  
(事務局)
- ・はい。  
(委員)
- ・チラシは社協で配付できる。23日に発送があるので、20日までにいただきたい。  
(NPO 政策研究所)
- ・登壇者の顔写真を集めない。  
(委員)
- ・民生委員は毎月7日に集まりがある。1月は10日に。そこで配付できる。あとは真美一まちづくり協議会だが、こちらはデータを LINE で。  
(委員)
- ・要職は随時集められるが、データいただければ配付できる。  
(委員)
- ・メールで撒けるが、私だったら実物のチラシが欲しい。学校から持って帰ってきたチラシを家族に見てもらった方が良いと思う。  
(事務局)
- ・教育委員会と協議します。  
(NPO 政策研究所)
- ・20日までにチラシを作成で。必要部数を事務局でカラー印刷。  
(事務局)
- ・区長・自治会長会は1月定例会は日程遅いので、メールで周知するなど。  
(委員)
- ・1/4に商工会の集まりあるので検討してはどうか。  
(副会長)
- ・ではチラシの作成ですが、どなたか得意な方いらっしゃいますか。  
(委員)
- ・広報記事案と同じような内容の感じで考えて良いか。  
・私でよければやります。  
(委員)
- ・一緒にやります。

(副会長)

・では、野条委員と丸谷委員でチラシ作成をお願いします。せっかくなので、チラシ作成者のお名前も入れましょう。

(NPO 政策研究所)

・チラシの内容に戻るが、登壇者全員の顔写真、肩書き、キャッチコピーを。

(会長)

・シンポジウムのタイトル案、出して良いか。「住民と役場の素敵なチームワーク」どうか。

(委員)

・「夢をカタチにするために」は残しで。カタチがカタカナで目を惹くので良い。

(副会長)

・自治基本条例というワードは入れない方が良い、それだけでとっつきにくいと感じる人いるかも。「夢をカタチにするために～住民と役場の素敵なチームワーク～」で良いのではないか。

(委員)

・少し長いのでは。「夢をカタチに～住民と役場の素敵なチームワークを求めて～」はどうか。

(副会長)

・では「夢をカタチに～住民と役場の素敵なチームワークを求めて～」で決定で。

(会長)

・チラシには条例のクレジットいれておくように。

(委員)

・広報記事にも。

(事務局)

・広報記事は検討します。

## ★アンケートについて

(副会長)

・事務局から案出てますが、何か意見ありますか。

地区名まで聞くのは、何か意図がありますか。

(事務局)

・このアンケート素案は他市の例を参考にしたものでして、地区名を聞く必要は無いので削除します。

(NPO 政策研究所)

・「広陵町に在住 在勤 在学 その他」この項目で良い。

(副会長)

・シンポジウムの内容がわかりやすかったかどうかは、1部と2部で分けて聞いた方が良いでしょう。あと、せっかくアンケートをするなら、分析に活用できるよう、属性のところで、地域活動をされている人なのかどうかも聞いては。

(NPO 政策研究所)

・今の指摘を受けて事務局で修正を。

### ★その他、まとめ

(委員)

・チラシや広報、アンケート等、最終稿を固める前にもう一度皆さんで確認する場を設けた方が良いでしょう。

(NPO 政策研究所)

・広報は事務局に一任する。

(事務局)

・12/17 (水) 13:30～ 役場2階第4会議室でいかがでしょうか。

(副会長)

・その日程でお願いします。すみませんが私は行けませんがよろしくお願いします。

(事務局)

・最後にはなりますが、当日、会場前のスペースで、地域活動や協働に関する展示をしようかと考えております。何か皆さんから、展示物の案があればよろしくお願いします。また、事務局としては、これまでに広報に掲載した記事等を展示しようと考えております。

・また、前日の午後からの設営、当日の受付や案内など、委員の皆様にもご協力いただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

## 3 閉 会